

立命館経済學

第二十八卷 第一号

昭和五十四年四月

内 容

論 說

- 公信用の展開……………小 牧 聖 徳 1
——信用，利子生み資本および国家との関連——
- 景気循環の形態に関する比較動学的分析……………北 野 正 一 24

研究ノート

- ケインズ経済学の意義と限界（I）……………山 田 彌 一 55
——スキデルスキー編『ケインズ時代の終焉』
をめぐって——北 野 正 一
河 野 快 晴
松 川 慶 二

資 料

- 現代アメリカ鉄鋼業の生産構造……………坂 本 和 一 77

翻 訳

- J. R. マカロック著『石炭税制改革論』（下）……………若 林 洋 夫 140

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十七卷・第五号

論 説

「地域主義」なるものへの批判……………杉野 罔明

——杉岡碩夫氏の所説について——

アダム・スミスの

自然価格論について(下)……………岡崎 栄松

——生産価格論の学史的考察——

研 究

行政事務再配分における

総合化原則……………藤岡 純一

——現代地方財政論序説——

翻 訳

J・R・マカロック著

『石炭税制改革論』(上)……………若林 洋夫

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十七卷・第六号

論 説

欧州経済通貨同盟の発展……………清水 貞俊

国際価値論の諸論点について……………岩田 勝雄

国有林における

労働組織の形成と展開(四)……………奥地 正

——東北・秋田国有林を中心に——

研究ノート

現代資本主義の生産力発展段階……………坂本 和一

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会